

2001年8月、兵庫県尼崎市で6歳の少年に対する衝撃的な虐待死事件が起きたとき、MY TREEペアレンツ・プログラム® は、すぐ隣の市でその最初の実践を始める準備にとりかかっていた。

事件は6歳の少年が児童養護施設「尼崎学園」から一時帰宅中に、母親と義理の父親によって脳内出血で死亡するまで繰り返して殴打暴行された後、運河に捨てられるというものだった。虐待行為は陰惨だが、虐待が一気にエスカレートする前は母親は自ら児童相談所に助けを求めていた。施設の職員にも自分の虐待行動の非を認めて、子どもへの関わり方を変えたい気持ちを語っていたと尼崎学園の所長は証言している。

「親が変わらなければ子どもは自宅に帰れない。親への指導やサポートが大事だ。しかし、うちには1人の子にそこまでできるだけの体制はない。両親をサポートできる機関がもっとあればと思う。公的機関であれ、地域のコミュニティーであれ、『この親はだめ』ではなく、親をどう支援していくかが課題だ。」
(2001/09/06 毎日新聞)

事件の詳細が明らかになればなるほど、このようなケースにこそMY TREEペアレンツ・プログラム®が必要なのにと、悔しく、またもどかしい思いに駆られた。

虐待をした親の行動修正を援助するシステムとその受け皿の不在が日本の児童福祉分野の大きな問題点として指摘されて久しい。しかし今日でも虐待する親へのケアプログラムの不在状況に大きな変化は起きていない。虐待への介入の結果子どもが施設や里親に預けられても、その間、親が自分の問題行動を修正する努力を義務づける有効なシステムは今もって法制化できないでいる。(MY TREEペアレンツ・プログラム® 実践報告書 はじめに より)

MY TREE ペアレンツ・プログラム® の完全解説本



生きる力をとりもどす
MY TREE ペアレンツ・プログラム®

「虐待・親にもケアを」
森田ゆり〔編著〕築地書館
定価 2400円+税

協力・支援のおねがい

MY TREE ペアレンツ・プログラム® を必要としている親にとどけて、深刻な虐待に苦しむ子どもを一人でもへらすために、是非会員になってください。
ご支援をお待ちしています。

賛助会員	賛同して下さる方	1口3千円/年
実践会員	認定されたMY TREE 実践者	1万円/年

郵便振替 (社) MY TREE
口座番号 00900-8-314055
振込用紙にメールアドレスのある方は記入して下さい

実践会員になるためには

- MY TREE ペアレンツ・プログラム® は、実践者養成講座(毎年5月、3日間)を修了し、認定を受けたスタッフ(実践者)が継続的なスーパービジョンと研修を受けながら行います。
- MY TREE ペアレンツ・プログラム® の実践者養成講座を受けるためには、事務局が指定した基礎講座を受講し、エンパワメントの具体的な関わり方をマスターすることが必須条件です。

※実践者は、子ども虐待やDV家庭とその子どもへの支援等について、専門知識と支援経験があることを必要とします。

※MY TREE ペアレンツ・プログラム® 実践者養成講座、基礎講座については、MY TREE 事務局までお問い合わせください。



一般社団法人 MY TREE

〒589-0012

大阪府大阪狭山市東茱萸木1-599-3

事務局携帯電話: 080-3785-2001

Email: mytree@mail.goo.ne.jp

URL: <https://mytree-p.org>

MY TREE ペアレンツ・プログラム®

MY TREE ペアレンツ・プログラム®は、
子どもを虐待してしまう親の回復のためのプログラムです

MY TREE ベアレンツ・プログラム®とは？

子ども虐待とはこれまで人として尊重されなかった痛みや悲しみを怒りの形で子どもに爆発させている行動です。

MY TREEベアレンツ・プログラム®は、その感情、身体、理性、魂のすべてに働きかけて、木や太陽や風や雲からも生命力の源をもらおうという人間本来のごく自然な感覚を取り戻します。さらに自分の苦しみに涙してくれる仲間がいるという、人とつながれることの喜びは、本来誰でもが内に持つ健康に生きる力を輝かせるのです。

森田ゆりによって開発され修了生の多くが虐待行動を止めることに成功しています。児童相談所や家庭児童相談室、教育委員会、民間団体などの主催で実施されています。

プログラムの目的

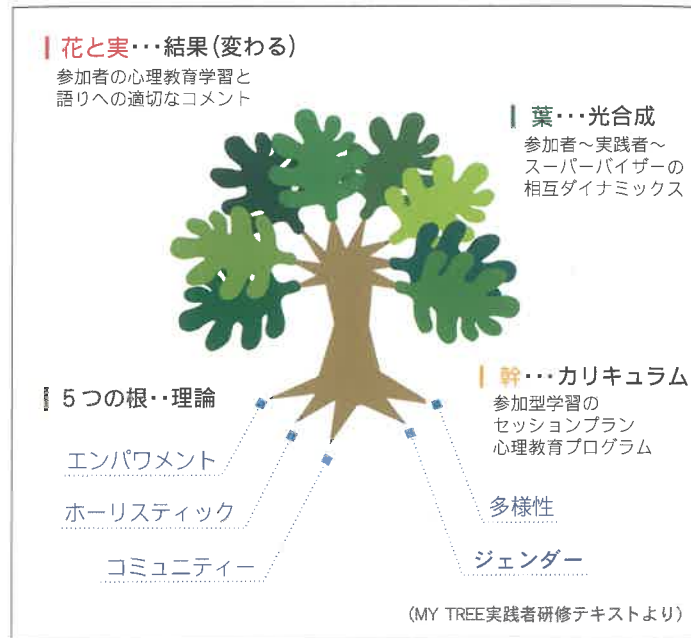
「セルフケア」と「問題解決力」を回復することで、虐待行動の終止を目的とします。

対象者

身体的虐待、心理的虐待、ネグレクトをしている保護者を対象とします。休まずに参加できることが前提です。性別は問いませんが、グループは男女別で形成します。

参加費、保育費は無料です。

MY TREE ベアレンツ・プログラム®の全体像



プログラムの構成

10人の親 + 2～3人のファシリテーター
毎週または隔週で13セッション
＜まなびのワーク＞と＜じぶんをトーク＞からなる2時間＋＜個人フォロータイム＞

参加者への案内

「子育てにしんどさを感じている」「気がつけば子どもをたたっている」「子どもを無視してしまう」「このままではどうになってしまうのかとても不安」そんなあなたを大切にするプログラムです。少人数での語り合いを中心とした、支え合いのグループです。参加者の秘密は厳守されます。安心してご参加ください。お待ちしております。(開催場所と日程に関しては事務局に問合せください。)

まなびのワーク（プログラムの構成）

＜事前面接＞個人面接

- 1 安心な出会いの場：目的、約束事、瞑想・ボディワーク
- 2 安心な出会いの場：私の木、1メッセージ
- 3 わたしのエンパワメント
- 4 怒りの仮面
- 5 感情制御
- 6 体罰の6つの問題性

＜中間面接＞個人面接

- 7 気持ちを聴く
- 8 気持ちを語る
- 9 自己肯定感：否定的ひとり言の掃除
- 10 自分をほめる、子どもをほめる
- 11 母親らしさ 父親らしさ (母親グループバージョン)
- 12 もっと楽なしつけの方法
- 13 MY TREE セレブレーション

＜終了時面接＞個人面接

＜同窓会＞3ヶ月後、6ヶ月後

MY TREE ベアレンツ・プログラム® 参加者の声

「怒りはいけない気持ちと思っていましたが、怒りは大事な気持ちでとても複雑な気持ちでひとつひとつを誰かに話せたとき、怒りの爆発はなくなったように思います。」

「長いトンネルにいたのが、少し、出口の光が見えてきたような気持ちです。」

「初めて、正直な気持ちを話す場を与えてもらいました。私の気持ちを口にして、子どもの気持ちを聴く。少しずつ子どもが気持ちを口にするようになった。」

「子どもに手をあげることがほとんどなくなりました。」

「ひきこもり状態でしたが、今では外出することもできるようになり、家事も少しずつできるようになっています。」

「ずーっと親を怒んでいました。恨んだり、怒ったり、そんな真っ黒なパワーを笑ったり、喜んだりと明るいパワーに変えることができる力の使い方を得ました。」

「わたしの木はあれからも根をはりつづけています。相変わらず嵐のときはあるけれど、でもそれで折れてしまわず、しなることができるようになった自分がいます。」

MY TREE ベアレンツ・プログラム® のテキスト

